

○民主党、海江田代表の続投

海江田代表の続投が決まりました。昨年、参議院選挙に大敗した時点で、その責任論が出ました。「一年の猶予が欲しい。その間、精いっぱいやって、その実績を見て判断させてほしい。」というご自身の言葉を受けて、海江田さんの判断を聞くことになり、先月 31 日に、両院議員懇談会が開かれました。

衆議院解散が任期いっぱい後の 2 年後、参議院との同日選挙という想定よりは、かなり前倒しされて、遅くとも来年の秋には行われるのではないかという憶測が流れています。これに、危機感を持った議員達は、「民主党の存在感を増して、戦う姿勢を作るためにも、この 9 月頃には、私達も代表選挙を党員サポーターも交えて行うべきでないか。」という主張をしました。一方で、「任期半ばで、代表を交代することは、民主党のバラバラ感を生むだけで為にならない。」とする主張もあり、それぞれが相半ばしました。結論は、海江田さんが続けていく意思を表明したことを受けて、皆で頑張ろうということになりました。

今回、一連の議論を聞き、民主党の議員達の意識が前と違って大きく変わりつつあるなという感慨を持たれたことは、嬉しいことでした。党を何とか盛り立てよう、現状を克服する手段は、何が一番いいのか、前向きな議論がありました。同時に、根底には、それぞれのメンバーが、「自分たちは、どんな状況のなかでも民主党で生き続けるのだ。」という、落ち着いた腹の座り方みたいなものが出てきたように感じられました。

集団的自衛権の閣議決定で平和憲法を空洞化させない。脱原発を堅持して、ドイツとともに新しいエネルギー政策に挑戦する。国民生活を豊かで安定したものにすることが本当の国の強さだという思いを持って、頑張ります。

○重要性増す地方行政と政治

地元に戻る時間を活用して、医療や福祉の関係者から現場の様子を聞き取る努力をしています。医療現場では、医師や看護師だけでなく、レントゲン技師、臨床検査技師、臨床工学技士や理学・作業・言語療法士など様々なコメディカルと言われる専門集団が活躍しています。それぞれの病院では、一人の患者にこうした人々がドクターを中心にチームを組んで行うチーム医療の重要

性とその効果がよく分ってきました。また、福祉の分野では、施設介護に偏重していた流れを、家庭介護の方向にも見直し、それが成り立つための「地域包括ケアシステム」を組み立てる努力が始まっています。医療機関、デイケアやショートステイなどの介護施設の利用、医師・看護師・介護士の訪問だけでなく、民生委員や地域ボランティア、自治会などの見守りなどの活動を促しながら、地域全体で機能する介護システムを作ろうということです。

こうした理想を前提に、国は、具体的な組織や運用の中身を地方自治体を中心になって進めていくこととして丸投げに近い状態になっていく可能性があります。絵にかいたように、うまくいくかどうかは、地方自治体の取り組み次第です。従って、この問題に対する首長さんの認識度合いや、地方議員の皆さんの取り組みによって、市町村によって大変な格差が出てくる可能性が指摘されています。来年の 4 月には、地方自治体の統一選挙です。足元からしっかりと活動をして、実績に結びついている候補者を見極めることが、福祉関係はもちろん、地方自治体のあらゆる行政分野に求められる時代になりました。

○再びヨーロッパへ

20 日からルーマニアを中心にヨーロッパに行くことになりました。ルーマニアでは、私も共同議長を務める「北朝鮮の人権侵害に関する国際議員連盟」総会に出席して、国連による北朝鮮人権調査委員会のさらなる活動を応援することです。ルーマニアにも拉致被害者がいて、会議にはその家族も出席します。フィンランドでは、核の使用済み燃料の最終処分場を見てきます。デンマークでは、社会保障制度と移民問題、そして、自然エネルギーの活用システムについて、担当大臣や議員のメンバーと突っ込んだ話をして北欧の進んだ制度の勉強をしてくるつもりです。帰ってきたら、報告します。

○健康第一

地元の夏祭りでお会いする皆さんから「肥えたね」との声が多いことに反省しています。毎日 1 万歩以上歩いて腹筋運動をすること。夜 9 時以降は食べないこと。炭水化物を極力控えること。健康第一です。